第７回白石町学校統合再編審議会会議録　（要約）

日　時：令和元年１０月１７日（木）１９：００～２０：２５

場　所：白石町役場　３階大会議室

出席者

　　　🔶審議会委員１９名

　　　🔶事務局

　　　🔶企画財政課職員

　　　　進行：学校教育課長

１　開会

進行：皆さん、こんばんは。定刻となりました。委員２２人中、只今の出席は１８人でございます。３人欠席と１人遅れるという連絡をいただいておりますので、よろしくお願い致します。それでは「第７回白石町学校統合再編審議会」を開催させていただきます。

では、お手元の「審議会次第」により進行させていただきます。

２　会長挨拶

進行：松尾会長にご挨拶をいただきます。

会　　　長：皆さん、こんばんは。足元の悪い中、しかも昼のお仕事を終えられたあと、集まっていただきまして、大変ありがとうございます。前回は中学校を一応まとめました。今日からいよいよ小学校の統合再編について、話し合いをするということになりました。今日は７回目ですので、野球ですとバルーンが上がったりするわけですが、それもなく粛々と今日も審議を進めて行きたいと思いますので、ひとつ皆さん方、時間の許す限りよろしく意見交換をお願い致します。今日はありがとうございます。

進　　　行：ありがとうございました。

３　前回会議録の確認

進行：前回会議録をお配りしていたが、何か誤りや不適切なところはなかったか。

（特になし）

進　　　行：それでは、これで公開とさせていただく。

４　議事

進行：それでは、次第４、議事となるが、ここからの進行については、松尾会長にお願いする。

（１）事務局より資料説明【資料４４～資料４９】

議　　　長：それでは、わたくしが議事を進めて参りたいと思う。ご協力よろしくお願いする。（１）事務局より資料説明をお願いする。

（資料４４～４９について、事務局から説明）

議　　　長：ありがとうございました。只今、資料の説明があったが、これについて何かご質問があるか。質問は後でもよいので、先の方に進みたいと思う。資料で気付いたことがあれば、立ち戻って質問の時間を作りたいと思うので、そちらでまたお願いをする。

　　　　　　次はグループ討議となっているが、やり方と資料の説明をお願いする。

事　務　局：それではグループ討議に入っていただくが、まず今日お配りした資料５０の簡単な説明、そしてグループ対話の方法について説明をさせていただく。今日お配りした第７回資料（当日配布分）をご覧いただきたい。これにつきましては、何もデータがない中、あくまでも素案を読んでの意見ということで、現時点での審議会委員の皆さまの考えをまとめさせていただくため、事前調査を行った。時間がない中、本当に貴重な意見をいただき、ありがたく思っている。内容は後で確認していただくとして、おおまかな点のみ報告をさせていただく。

　　　（資料５０、グループ対話の方法について、事務局から説明）

議　　　長：ありがとうございました。何か質問はないか。なければ、今からグループ討議をお願いする。

　　　（グループ討議　４０分間）

進　　　行：それでは時間となったので、全体会の方に移りたいと思う。松尾会長に、進行をお願いする。

議　　　長：いろいろと意見交換をしていただいた。　それでは、これから各グループから意見交換の発表をしていただきたいと思う。５分ずつで報告をお願いする。

グループ１：本日の資料を見て、事前調査時と意見が変わらないか、変わったかだが、変わらない委員が５人中４人、変わった委員が１人である。変わらない委員の意見としては、地域思考を強く持っているため、３校でよいと思う。先は１校への統合という意見だが、先のことはもっと後で考えればいい。いきなり１校というのは住民も戸惑うのではないか。計画的な財政計画を立て、まずは３校でスタートして、１５年～２０年後には１校再編を考えるべきだろう。事前調査の段階でも、気持ちが揺れていて記入できなかった委員は、資料を見てもまだ揺れている部分がある、とのこと。当初は３校案ではなかった委員は、まずは３校でスタート、第１段階、第２段階と考えて、第２段階はもっと先の話になるだろうが、１校に再編する。住民の感情とかあると思うので、まず旧町単位の３校でスタートする。このグループで出ていた意見は、将来的に１校を見据えた答申を出さないといけないのではないか、という話が出た。その中でも、まだ小学校は近くにあったほうがよいという気持ちも捨てきれない、といった意見もあった。

グループ２：このグループで出た意見を紹介したいと思う。大きく２点。１点は、１校への再編を見据えるということ。１人あたりに掛けられる教育費を考えた場合に、大規模校の方が十分掛けられるだろうという面。それから、白石高校、佐賀農業高校や現白石中学校に新しい中学校が開校した場合に、コンパクトな位置に配置ができる。学園都市的な構想等も考えられるのではないかということがあがっている。この隣接したかたちというのは、やはり親から見ても、足を運びやすい環境、安心できる環境である等、そうしたメリットも考えられるといったところ。もう１点は、２校、３校への再編案である。将来的には１校への再編を見据えたかたちでという前提での意見ではあるが、今の段階では、２校や３校への再編という考えである理由には、コミュニティが広すぎない方がいいのではないか。現有明中学校の施設がまだ十分に活用できるので、有効活用した方が、予算的にも良いのではないか。できるだけ自力登校できる環境を残したいという意見があげられている。１校、２校案のどちらにしても、どこに立地するかという問題になると、必ず反対意見等が出て来るものと思っているが、基本的にどのようなビジョンで教育環境を整えていくかということを示しておく必要があるだろうという意見があがった。そのビジョンを理解していただくことが、答申を出して、町民の理解に繋がりやすくなるのかなというところであり、目先のことだけではなく、先を見据えたかたちで、こういう構想のもとに考えているのだ、ということが必要になってくるのではないかという意見が出されている。

グループ３：このグループは、最終的には３校案が２人、１校案が３人となった。２校案だった１人の委員が、今日の資料、意見を聞いて、どうせするなら１校がいいのではないだろうかということで考えが変わられている。１校への再編の方が、住民にも説明がし易い。このように白石町の教育を変えていくのですよ、と言えるのではないか。新しい校舎も建てば、住民の意識も変わってくるのではないだろうかという理由からである。あと、１校になった時、みんなさまざまな場所から寄って来れば、子どもたちは入りやすいのではないだろうか。大きいところに自分一人入って行くのではなく、みんながそれぞれの場所から来るわけで、そちらの方がいいのではないかという意見の委員がいらっしゃった。また他の委員からは、子どもたちのためには１校がいい。第１に子どものことを考えよう。あと地域のコミュニティは考え方次第でどうにでもなるのではないだろうか、という意見。１校に再編となれば、それなりにすんなりできるような気がする。感情論ばかりで３校にするのはどうかと思う。親が心配するよりも子どもたちは強い。子どもたちのための政策が必要である。今の原案の３校案には賛成はするが、最終的に第２次の再編がいつになるのか、そこはまだわかっていないので、これが５年後なのか１０年後なのかというところを示して欲しい。第２次の再編が、仮に福富中が白石中に統合するのなら、いつ頃になるのかというところ。その他、１校だと子どもがかわいそう。遠くなると親が心配になるという意見も出た。

グループ４：この４人のグループは、事前調査の段階では、３校案が３人、２校案が１人だった。いろいろ意見が出たが、２校案の委員の意見として、福富地域の児童が少ないということ、学校間の偏りが出るのではないかということが出された。最終的に、第７回の資料を見て、意見が変わったかどうかということだが、ほとんどの委員が３校案で変わりなかった。２校案と言われていた委員も、児童数や通学距離のバランスが取れるのであれば、３校案でもよいということで、結果的には圧倒的に３校案が多い。他の理由としては、グループ１でも言われたが、先々令和１０年以降に１校になるとしても、スタートは３校ということで、今急いで１校にする必要はないのではなかろうか、という意見。それから、他グループでも意見が出たが、あえて旧町にこだわる必要もないが、地域の行事等コミュニティも考えて統合再編を考えなければいけないのではなかろうかという意見が出た。

議　　　長：ありがとうございました。本当にいろいろまとめていただき、ありがとうございました。時間も来たようなので、この意見交換を基に、次回以降再編策について審議を行って行きたいと思う。ここで事務局にお戻しする。

事　務　局：松尾会長、進行ありがとうございました。

５　連絡事項

1. 第８回審議会の開催日について

　 　第８回審議会　　１１月２０日（水）　１９時～　　役場３階大会議室

1. その他

６　閉会